# 平成２６年度　　事務事業評価シート

| | | |
|---|---|---|
| 章 | 5 | 豊かな個性と人間性を育むまち |
| 節 | 2 | 学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む |
| 施策 | Ⅰ | 子どもたちの生きる力を育む |
| 目標 | | 自ら学び、自ら考えるなど「生きる力」の育成に努める。 |

| | 指標名 | 単位 | 基準値 H16 | 中間値 H21 | 実績値 H22 | 実績値 H23 | 実績値 H24 | 実績値 H25 | 実績値 H26 | 目標値 H27 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標①-1 | 不登校児童生徒の割合（小学校） | % | 0.2 | 0.2 | 0.3 | 0.2 | 0.2 | 0.3 | － | 0.1 |
| 指標①-2 | 不登校児童生徒の割合（中学校） | % | 1.6 | 1.8 | 2.2 | 2.4 | 2.1 | 2.2 | － | 1.1 |
| 指標② | 不登校児童生徒数の復帰率 | % | 17.9 | 6.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 10.8 | － | 30.0 |
| 指標③ | 教育実践研究校の指定校 | % | 64.3 | 115.40 | 138.4 | 107.6 | 92.3 | 100.0 | － | 84.0 |

| 施策コード | 施策の基本的な方向性 | 主要な施策 | 具体的な内容 |
|---|---|---|---|
| 1-① | 1　確かな学力の向上 | ①　基礎・基本の定着 | ・子どもたちの学習の定着度を把握し、一人ひとりの理解や習熟の程度に応じたきめ細かな指導を進め、基礎・基本の着実な定着を図ります。 |
| 1-② | 1　確かな学力の向上 | ②　思考力、判断力、表現力、問題解決能力の育成 | ・新しい学力観にたって、知識・技能はもとより、思考力、判断力、表現力、問題解決能力を育てるための指導計画を整え指導方法の工夫改善等、授業の改善を進め、確かな学力の定着を図ります。 |
| 1-③ | 1　確かな学力の向上 | ③　学び続ける意欲の醸成 | ・各教科や道徳、特別活動、総合的な学習の時間の関連を図り、個に応じた指導を充実させるとともに、問題解決的学習や体験的な学習等を通して学び続ける意欲の醸成に努めます。 |
| 2-① | 2　豊かな人間性の育成 | ①　豊かな心を育む教育の充実 | ・子どもの発達段階に応じ、学校の教育活動全体を通して、生命を大切にする心や思いやりの心、倫理観や規範意識、社会性など豊かな心を育む道徳教育を推進し、道徳教育の要となる「道徳の時間」の充実に努めるとともに、豊かな感性や情操を育む読書活動を推進します。 |
| 2-② | 2　豊かな人間性の育成 | ②　生徒指導・不登校対策の充実 | ・小・中・高等学校の情報交流を通して、問題行動の早期発見や未然防止などの協議を進め、関係機関との連携を図り、生徒指導の充実に努めます。また、不登校対策では「不登校・いじめ対策会議」や「ふれあいサポート懇談会」等の充実を図り不登校児童生徒の解消に努めます。 |
| 2-③ | 2　豊かな人間性の育成 | ③　教育相談の充実 | ・児童生徒、保護者、教員が抱える不安や悩みごとに対して、各学校での教育相談をはじめ、スクールカウンセラーや「心の教育相談員」を配置し、教育相談体制の強化・充実を図ります。 |
| 3-① | 3　たくましく生きるための健康や体力づくり | ①　健康や体力づくりの推進 | ・学校、家庭、地域が連携し、子どもの健やかな心と体を育むため、「自らの健康を考えることや守る態度を養う」とともに、「運動するための体力」と「病気やストレスに対応する体力」のバランスの取れた体力づくりを推進します。 |
| 3-② | 3　たくましく生きるための健康や体力づくり | ②　食育の推進 | ・健全な食生活は、健康な心身を育み、望ましい食習慣の形成にとって大きな影響を及ぼすことから、家庭との連携を図りながら、新たな栄養教諭制度を中心に学校における食育を推進します。 |
| 3-③ | 3　たくましく生きるための健康や体力づくり | ③　地域との連携 | ・友達との遊びや地域の人たちとの交流の機会など、子どもたちが積極的にスポーツや体力づくりに親しむ環境づくりを支援します。 |
| 3-④ | 3　たくましく生きるための健康や体力づくり | ④　指導者・指導技術の充実 | ・子どもたちの主体的な体力づくりやスポーツ活動を支援する指導者の育成と指導技術の向上を支援します。 |

## Plan ・ Do

### 事業概要

| NO | 施策 | 事業名【事務事業コード】 | 部名及びグループ名 | | 開始年度 | 終了年度 | 事業区分 | 会計種別 | 事業の目的 | 年度 | 対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載 | 事業の内容 | 根拠法令、条例、要綱等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2-② | 不登校・いじめ対策経費【52122001】 | 教育委員会 | 学校教育G | H7 | － | ソフト | 一般会計 | 不登校やいじめ等を未然に防止するとともに、それらの問題に早期かつ適切に対応することを目的とする。 | H24 | 小・中学生とその保護者、教職員 | 教育指導専門員による教育相談や教職員研修会の開催、保護者向けの広報紙による啓発等を実施した。<br>【事業内容（事業実績）】教育指導専門員２名配置（月～金・９時17時）、教育相談及びいじめ相談電話（随時受付・実績３件）、校長会・教頭会の代表、各小中学校教諭等と構成する「不登校・いじめ等対策会議」開催（２回）、教職員を対象とした研修会（２回）、「いじめ学習資料」の配布（各小中学校に１回配布）、ふれあいサポート懇談会（２回）、広報紙「手をつなぐ親と子」（１回発行）等<br>※本事業の人件費5,099千円（財源：市 5,099千円） | 学校教育法 |
| | | | | | | | | | | H25 | 上記のとおり | 上記のとおり<br>※本事業の人件費5,084千円（財源：市 5,084千円） | 上記のとおり |
| | | | | | | | | | | H26 | 上記のとおり | 上記に加え、児童生徒に対する心理テストを実施予定 | 上記のとおり |
| 2 | 2-③ | スクールカウンセラー活動経費【52123001】 | 教育委員会 | 学校教育G | H8 | － | ソフト | 一般会計 | 児童生徒へのカウンセリング体制の充実を図ることにより、不登校やいじめ等を未然に防止するとともに、それらの問題に早期かつ適切に対応することを目的とする。 | H24 | 小・中学生 | 児童生徒へのカウンセリング体制の充実を図るため、臨床心理士などの専門家を配置した。<br>【配置校及び日数】西陵中学校（36日）、緑陽中学校（34日）、鷲別中学校（38日）。以上３校を拠点校方式とし、必要に応じ市内各小中学校のカウンセリングに対応した。１校あたり年34週、週当たりの勤務時間は４時間程度。<br>※本事業の実施に係る人件費<br>2,054千円【財源：道1,850千円、市 204千円】 | 学校教育法、スクールカウンセラー活用事業実施要項 |
| | | | | | | | | | | H25 | 上記のとおり | 上記のとおり<br>※本事業の実施に係る人件費<br>1,929千円【財源：道1,725千円、市 204千円】 | 上記のとおり |
| | | | | | | | | | | H26 | 上記のとおり | 上記のとおり実施中 | 上記のとおり |

### 事業の成果、目標

| NO | 指標名 | 単位 | H24 実績 | H25 実績 | H26 目標 | H27 目標 | H28 目標 | H29 目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 不登校・いじめ対策会議：年２回、ふれあいサポート懇談会：年２回、教職員研修会：年２回 | 回 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| 1 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| 2 | 相談件数 | 件 | 304 | 379 | 300 | 300 | 300 | 300 |
| 2 | － | － | － | － | － | － | － | － |

### 各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【 単位 ： 千円 】

| NO | 名称 | H24 決算 | H25 決算 | H26 予算 | H27 予算案 | H28 予算案 | H29 予算案 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 国庫支出金 | | | | | | |
| 1 | 道支出金 | | | | | | |
| 1 | 地方債 | | | | | | |
| 1 | その他 | | | | | | |
| 1 | 一般財源 | 236 | 212 | 1,210 | 1,210 | 1,210 | 1,210 |
| 1 | 合計 | 236 | 212 | 1,210 | 1,210 | 1,210 | 1,210 |
| 2 | 国庫支出金 | | | | | | |
| 2 | 道支出金 | | | | | | |
| 2 | 地方債 | | | | | | |
| 2 | その他 | | | | | | |
| 2 | 一般財源 | 77 | 34 | 78 | 78 | 78 | 78 |
| 2 | 合計 | 77 | 34 | 78 | 78 | 78 | 78 |

## Check ・ Action

| NO | 年度 | 第2期基本計画第3次実施計画期間中（H24～H26）における事業内容の変更・改善等の状況 | 評価 | 評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果） | 今後の事業の方向性【H27以降】 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | H24以前 | 不登校等の背景にある様々な課題の解決に向け、スクールソーシャルワーカー及びスクールカウンセラー、心の教室相談員によるサポートのほか、適応指導教室・体験教室を開設して学校や家庭、関係機関等と連携した取組を進める。 | 維持 | 不登校・いじめ対策については、学校だけでは対応が困難なケースが増加しており、関連事業との相乗効果を勘案して本事業を継続する。 | 教職員向けの研修と併せて、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、心の教室相談員による支援と適応指導教室、体験教室による指導を中心に取り組んでいく。 |
| | H25 | スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、心の教室相談員と共に様々な事例等の情報共有を行い、生徒個々の状況に応じた対応が行える環境づくりに取り組んだ。 | | | |
| | H26 | 上記のほか、生徒個々の状況把握のため、心理テストを実施予定。（心理テストの実施経費として予算1,000千円を計上。） | | | |
| 2 | H24以前 | 児童生徒が抱える問題の多様化、複雑化により相談件数が増加傾向にあることから、学校や家庭、関係機関等と連携し、カウンセリング体制の強化及びより一層の機能の充実が図られるよう取組を進める。 | 維持 | ・学校生活において児童生徒が抱える様々な悩みや不安は、いじめ、不登校にもつながりやすく、気軽に相談できる体制を整えることは重要である。<br>・児童生徒の問題行動等は複雑・多岐にわたり、専門的な知識を有するカウンセラーの配置は、教職員、保護者にとっても必要なことである。<br>・本事業は、北海道教育委員会が行っているスクールカウンセラー活用事業を活用したものであり、市が事業を実施することは妥当であり、低予算で行える事業であり、効率性は高い。 | 児童・生徒が抱える問題の多様化、複雑化により相談件数の増加が予想されることから、今後もカウンセリングの機能充実を図っていく。 |
| | H25 | スクールソーシャルワーカー、心の教室相談員と共に様々な事例等の情報共有を行い、生徒個々の状況に応じた対応が行える環境づくりに取り組んだ。 | | | |
| | H26 | 上記のとおり | | | |

| NO | 施策 | 事業名【事務事業コード】 | 部名及びグループ名 | | 開始年度 | 終了年度 | 事業区分 | 会計種別 | Plan ・ Do | | | | | | | | | | | | | | | | Check | | | Action |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | 事業概要 | | | | 事業の成果、目標 | | | | | | | | 各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】 | | | | | | | | 第2期基本計画第3次実施計画期間中(H24～H26)における事業内容の変更・改善等の状況 | | 評価 | 評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果） | 今後の事業の方向性【H27以降】 |
| | | | | | | | | | 事業の目的 | 年度 | 対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載 | 事業の内容 | 根拠法令、条例、要綱等 | 指標名 | 単位 | H24 実績 | H25 実績 | H26 目標 | H27 目標 | H28 目標 | H29 目標 | 名称 | | H24 決算 | H25 決算 | H26 予算 | H27 予算案 | H28 予算案 | H29 予算案 | | | | | |
| 3 | 2-③ | 心の教室相談員活動経費 | 教育委員会 | 学校教育G | H10 | ― | ソフト | 一般会計 | 生徒の悩み相談等に応じることで、不登校やいじめ等を未然に防止し、生徒が心にゆとりと持ちストレスをためることのない環境をつくることを目的とする。 | H24 | 中学生 | 生徒の悩み相談等に応じる心の教室相談員を配置した。<br>【配置人数】各校１人<br>【配置日数】幌別中学校（80日）、西陵中学校（86日）、鷲別中学校（90日）、登別中学校（0日）、緑陽中学校（85日）<br>【相談件数】61件（来室者数3,414人）<br>※本事業の実施に係る人件費<br>1,296千円（財源：市 1,296千円） | | 相談件数※相談を受けた件数のみ計上 | 件 | 61 | 26 | 110 | 110 | 110 | 110 | 国庫支出金 | | | | | | | | H24以前 | 生徒の心の悩みや人間関係への不安、学校生活上の悩みからくるストレスを和らげ、生徒が心にゆとりを持てるような環境を提供するなど、引き続き学校や家庭、関係機関と連携しながら不登校等の背景にある課題の初期段階での解決に向けて取組を進める。 | 維持 | 学校生活において児童生徒が抱える様々な悩みや不安は、いじめ、不登校にもつながりやすく、気軽に相談できる体制を整えることは重要である。また、気軽に相談できる体制が確立されており、ふれあいを持て求めて来室する生徒も多く、生徒との信頼関係が形成されている。精神的に安定した学校生活を送るためにも必要な事業である。 | 児童・生徒が抱える問題の多様化、複雑化により相談件数の増加が予想されることから、今後もカウンセリングの機能充実を図っていく。 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 道支出金 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 地方債 | | | | | | | | H25 | スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーと共に様々な事例等の情報共有を行い、生徒個々の状況に応じた対応が行える環境づくりに取り組んだ。 | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | その他 | | | | | | | | | | | | |
| | | 52123002 | | | | | | | | H26 | 上記のとおり | 上記のとおり実施中 | | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | 一般財源 | | 174 | 170 | 178 | 178 | 178 | 178 | H26 | 上記のとおり | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合 計 | | 174 | 170 | 178 | 178 | 178 | 178 | | | | | |
| 4 | 2-③ | スクールソーシャルワーカー活用事業 | 教育委員会 | 学校教育G | H23 | ― | ソフト | 一般会計 | 学校だけでは対応しきれない、不登校など生徒指導上の問題を抱える小・中学校において、課題解決に向けた校内体制の確立を図ることを目的とする。 | H24 | 小・中学生、教師等 | 教育委員会から小・中学校に必要に応じて、スクールソーシャルワーカーを派遣（２名）した。また、スクールソーシャルワーカーの役割と活用について、教職員への理解を深めてもらうため、スクールソーシャルワーカーが自ら講師となり、不登校事例をテーマとした教職員研修会を実施した。<br>※本事業の実施に係る人件費<br>1,245千円（財源：道 1,245千円） | | 学校訪問を実施した学校 | 校 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 国庫支出金 | | | | | | | | H24以前 | 生徒指導にあたっている教師との懇談やケース会議への積極的な参加に重点を置き、学校訪問を充実させた。 | 維持 | いじめ、不登校問題の解決には、学校、家庭、関係機関との連携を図ることが不可欠であり、今後も市が主体となり事業を推進する必要あることと、教育現場からのニーズも高く、他の関連事業と併せて実施することで相乗効果が得られる事業であることから、引き続き、事業実施することが必要である。<br>・スクールソーシャルワーカーが学校と関係機関等との連携の構築に向け活動を行ったことで、これまで各学校が課題としていた関係機関との連絡調整等についてもパターン化が図られるなど効果的な支援を行うことができた。 | 今後も、生徒指導にあたっている教師との懇談やケース会議への積極的な参加に重点を置き、不登校児童生徒の現有確認や今後の対応等について情報交流を図っていく。 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 道支出金 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 地方債 | | | | | | | | H25 | スクールカウンセラー、心の教室相談員と共に様々な事例等の情報共有を行い、生徒個々の状況に応じた対応が行える環境づくりに取り組んだ。 | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | その他 | | | | | | | | | | | | |
| | | 52123004 | | | | | | | | H26 | 上記のとおり | 上記のとおり実施中 | | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | 一般財源 | | | 6 | 27 | 27 | 27 | 27 | H26 | 上記のとおり | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合 計 | | 0 | 6 | 27 | 27 | 27 | 27 | | | | | |
| 5 | 3-① | 児童生徒健康診断等経費 | 教育委員会 | 学校教育G | ― | ― | ソフト | 一般会計 | 学校保健安全法に基づき、児童生徒の健康の保持増進及び心身の調和的発達を図ることを目的とする。 | H24 | 小・中学生 | 児童・生徒の健康状態の把握及び向上のため、健康診断やフッ化物洗口を実施した。また、学校の衛生環境を保全するため、水道水の水質調査等を行う環境衛生調査を実施した。 | 学校保健安全法 | 児童生徒数 | 人 | 3,663 | 3,607 | 3,547 | 3,547 | 3,547 | 3,547 | 国庫支出金 | | | | | | | | H24以前 | 事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。 | 維持 | 児童生徒の心身の健康と更なる充実を図るため、市が本事業を行うことは妥当である。 | 今後も事業を継続し、児童生徒の健康状態の把握及び向上を図っていく。 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 道支出金 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | H25 | 上記のとおり | 上記のとおり | 上記のとおり | | | | | | | | 地方債 | | | | | | | | H25 | 上記のとおり | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | その他 | | | | | | | | | | | | |
| | | 52131001 | | | | | | | | H26 | 上記のとおり | 上記のとおり実施中 | 上記のとおり | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | 一般財源 | | 17,443 | 17,701 | 18,808 | 18,808 | 18,808 | 18,808 | H26 | 使用容器をプラスチックコップから紙コップに変えたことで、衛生面・効率面の向上を図った。 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合 計 | | 17,443 | 17,701 | 18,808 | 18,808 | 18,808 | 18,808 | | | | | |
| 6 | 3-② | 学校給食センター改修工事 | 教育委員会 | 学校給食センター | H21 | H30 | ハード | 一般会計 | 安全安心な学校給食を提供するため、年次的に施設の改修及び調理機器等を更新し、衛生管理等の徹底につなげることを目的とする。 | H24 | 給食センター | ①温食及び副食の適切な温度管理のため、保冷・保温効果の高い専用ケースを市内小中学校１４校に配置した。<br>2,000千円<br>②調理釜及び温食配缶周辺の天井及び天蓋の改修工事を行った。<br>③地下タンクは構造上、地上に比べ危険物の漏洩、流出の発見が遅れる可能性が高いため、地下タンクを撤去し地上にタンクを設置した。<br>4,788千円 | 学校給食法・学校給食衛生管理基準（文部科学省）・登別市学校給食センター条例・同条処務規程 | ①各小中学校に設置した保温用ケース数<br>②給食センター調理場内の天井及び天蓋の5か所<br>③給食センター重油タンク3台 | ①校・個<br>②調理場<br>③台 | ①14・83<br>②5<br>③3 | | | | | 国庫支出金 | | | | | | | | H24以前 | 安心・安全できる学校給食を供給するため、必要な施設・設備の改修等を行った。 | 休止 | 耐震診断の結果から、整備計画の事業内容を検討することとしたことから、必要に応じた改修を実施することとした。 | 耐震診断の結果から、整備計画の事業内容を検討し、必要に応じた改修を実施していく。 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 道支出金 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 地方債 | | | | | | | | H25 | 平成25年度に実施した耐震診断において、給食センターの長期利用が困難となる結果が出たため、平成20年度に作成した計画を中断し、必要に応じた改修を実施することとした。 | | | | | |
| | | | | | | | | | | H25 | ― | ― | ― | | | | | | | その他 | 学校給食費事業債 | 7,600 | | | | | | | | | | |
| | | 52132002 | | | | | | | | H26 | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | 一般財源 | | 1,182 | 489 | 482 | 481 | 480 | 0 | H26 | 上記のとおり | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合 計 | | 8,782 | 489 | 482 | 481 | 480 | 0 | | | | | |
| 7 | 3-② | 学校給食センター耐震診断等事業 | 教育委員会 | 学校給食センター | H25 | H25 | ハード | 一般会計 | 給食センターの耐震診断を実施することにより、建て替え等の検討検討を行い、学校給食の安定提供に結びつけることを目的とする。 | H24 | ― | ― | ― | 給食センター | 件 | ― | 1 | ― | ― | ― | ― | 国庫支出金 | 給食センター耐震診断事業補助金 | | 442 | | | | | H24以前 | ― | 廃止 | 平成25年度を以って、事業が終了したため。 | 平成25年度で事業終了。<br>耐震診断の結果から、整備計画の事業内容を検討し、必要に応じた改修を実施していく。 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 道支出金 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | H25 | 給食センター | 給食センターの在り方等について検討するため、耐震診断を実施した。<br>①耐震化改修工事を行い延命等を図る。<br>②給食センターの新設及び時期等を検証する。 | 学校給食法・学校給食衛生管理基準（文部科学省）・登別市学校給食センター条例・同条処務規程 | | | | | | | | 地方債 | | | | | | | | H25 | 老朽化が進む学校給食センターの耐震診断を行い、今後、センターのあり方などについて協議を進めることとした。 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | その他 | | | | | | | | | | | | |
| | | 52132016 | | | | | | | | H26 | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | 一般財源 | | | 2,813 | | | | | H26 | ― | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合 計 | | 0 | 3,255 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | |

| NO | 施策 | 事業名【事務事業コード】 | 部名及びグループ名 | | 開始年度 | 終了年度 | 事業区分 | 会計種別 | Plan ・ Do | | | | | | | | | | | | | | Check | | | Action |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | 事業概要 | | | | | 事業の成果、目標 | | | | | | | | 各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】 | | | | | | | 第2期基本計画第3次実施計画期間中(H24～H26)における事業内容の変更・改善等の状況 | | 評価 | 評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果） | 今後の事業の方向性【H27以降】 |
| | | | | | | | | | 事業の目的 | 年度 | 対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載 | 事業の内容 | 根拠法令、条例、要綱等 | 指標名 | 単位 | H24 実績 | H25 実績 | H26 目標 | H27 目標 | H28 目標 | H29 目標 | 名称 | H24 決算 | H25 決算 | H26 予算 | H27 予算案 | H28 予算案 | H29 予算案 | | | | | |
| 8 | 3-③ | 学校医等表彰経費 | 教育委員会 | 学校教育G | S56 | ― | ソフト | 一般会計 | 長年にわたり本市市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師として、児童生徒等の健康の保持増進と保健教育の振興に貢献した者に対し、その功績を称えることを目的とする。 | H24 | 学校医、学校歯科医、学校薬剤師 | 児童生徒等の健康の保持増進と保健教育の振興に貢献した者に対し、その功績を称えることを目的とする。<br>【表彰対象者】学校医、学校歯科医、学校薬剤師<br>【表彰区分】～10年以上、20年以上、30年以上<br>【表彰実績】<br>・10年表彰対象者　1名<br>・20年表彰対象者　2名<br>・30年表彰対象者　3名 | 登別市立学校学校医等表彰規程 | 表彰者数 | 人 | 6 | 4 | 6 | 2 | 6 | 3 | 国庫支出金 | | | | | | | H24 以前 | 事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。 | 維持 | 児童生徒等の健康増進、保健教育の振興に貢献する事業であり、学校保健教育の更なる充実を図るため、市が本事業を行うことは妥当である。 | 本表彰事業を継続的に行うことにより、内外にその功績を表すことを通じて、学校保健教育の更なる充実を図っていく。 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 道支出金 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 地方債 | | | | | | | H25 | 上記のとおり | | | |
| | | | | | | | | | | H25 | 上記のとおり | 上記のとおり<br>【表彰対象者】学校医、学校歯科医、学校薬剤師<br>【表彰区分】～10年以上、20年以上、30年以上<br>【表彰実績】<br>・10年表彰対象者　1名<br>・20年表彰対象者　3名<br>・30年表彰対象者　0名 | 上記のとおり | | | | | | | | | | その他 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | 一般財源 | | 111 | 63 | 101 | 26 | 121 | 58 | H26 | 上記のとおり | | | |
| | | 52133001 | | | | | | | | H26 | 上記のとおり | 上記のとおり実施予定 | 上記のとおり | | | | | | | | | 合 計 | | 111 | 63 | 101 | 26 | 121 | 58 | | | | | |
| 9 | 3-④ | 中学校体育連盟助成金 | 教育委員会 | 学校教育G | S57 | ― | ソフト | 一般会計 | スポーツを通して生徒の心身の健康を増進するとともに、学校間の親睦と交流を深めることを目的とする。 | H24 | 登別市中学校体育連盟 | 市内中学校の体育活動振興のために活動する中学校体育連盟に対し、その活動に必要な経費の一部を助成した。<br>【登別市中学校体育連盟の事業実績】<br>体育大会の開催（春季・秋季）、理事会及び専門委員会の開催（計５回）、西胆振及び胆振中体連大会への参加等 | | クラブ活動数（各校累計） | 種類 | 41 | 38 | 38 | 38 | 38 | 38 | 国庫支出金 | | | | | | | H24 以前 | 事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。 | 維持 | 中学校体育連盟が主催する体育大会等は、中学校生徒の部活動等における目標となるものであり、体育振興、健康増進、生徒間交流などに果たす役割は大きいことから、今後も事業を継続することが相当である。 | 各種体育大会等の実施と生徒が参加できる環境を保障するため、今後も事業の継続を図っていく。 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 道支出金 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 地方債 | | | | | | | H25 | 上記のとおり | | | |
| | | | | | | | | | | H25 | 上記のとおり | 上記のとおり | | | | | | | | | | その他 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | クラブ活動加入者数 | 人 | 884 | 861 | 861 | 861 | 861 | 861 | 一般財源 | | 1,400 | 1,400 | 1,400 | 1,400 | 1,400 | 1,400 | H26 | 上記のとおり | | | |
| | | 52134001 | | | | | | | | H26 | 上記のとおり | 上記のとおり実施中 | | | | | | | | | | 合 計 | | 1,400 | 1,400 | 1,400 | 1,400 | 1,400 | 1,400 | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全会計　合計 | 国庫支出金 | 0 | 442 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 道支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 7,600 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 20,623 | 22,888 | 22,284 | 22,208 | 22,302 | 21,759 |
| | 合計 | 28,223 | 23,330 | 22,284 | 22,208 | 22,302 | 21,759 |
| 一般会計　合計 | 国庫支出金 | 0 | 442 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 道支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 7,600 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 20,623 | 22,888 | 22,284 | 22,208 | 22,302 | 21,759 |
| | 合計 | 28,223 | 23,330 | 22,284 | 22,208 | 22,302 | 21,759 |
| | 区分【再掲】 | H24 決算 | H25 決算 | H26 予算 | H27 予算案 | H28 予算案 | H29 予算案 |